新長中期経営計画［2020-’22］

Ⅰ．現経営計画［2016-’19］総括
Ⅱ．長期ビジョン［2020-’29］
Ⅲ．新中期経営計画［2020-’22］

2020年3月26日

三和倉庫株式会社

Ⅰ．現経営計画［2016- ’19］の総括

主な施策（物流部門・保険部門）

- 川崎事業所　危険物立体自動倉庫建設
- 千葉事業所　定温危険物倉庫建設
- 化学品アドバイザーによる化学品基礎教育並びに安全教育の実施
- 日曹グループ各社等への損害保険等拡販

実績（営業収支）

- 千葉・川崎事業所にて危険物倉庫増床し、順調に稼働
- 運送料等・不採算業務の適正料金の収受
- 2016年度～‘19年度上期迄、在庫水準、荷動き共に順調
- ‘19年度下期、米中貿易戦争、消費税増税等の影響により、国内外の荷動きが急激に悪化

当初目標達成・‘19年度実行予算未達の要因

・当初計画した営業収益・利益ともに目標達成
　➡千葉・川崎事業所危険物倉庫の早期段階でのフル稼働
・2019年度計画した実行予算未達
　➡ 急激な国内景気の後退
　➡ 原油高、人手不足を背景とした運送コストの増加

●課題

営業収益

・ 新規顧客の獲得
・ 再保管先の確保
（ネットワーク拡大）

営業利益

・ 適正料金の収受
・得意先別収支把握、分析
・高収益顧客取引拡大

生産性向上

・物流安全推進
・老朽化倉庫リニューアル
・ＤＸの推進

品質向上

・受注業務の合理化
・IT技術等による省人化
・働き方改革への取組

Ⅱ．長期ビジョン［2020- ’29］

●10年後の目指す姿と経営目標・戦略

経営理念

私たちは顧客に対し誠意を持って接すると共に、**安全で迅速・正確なサービス**を提供するためにたゆまぬ努力を続ける

10年後の目指す姿

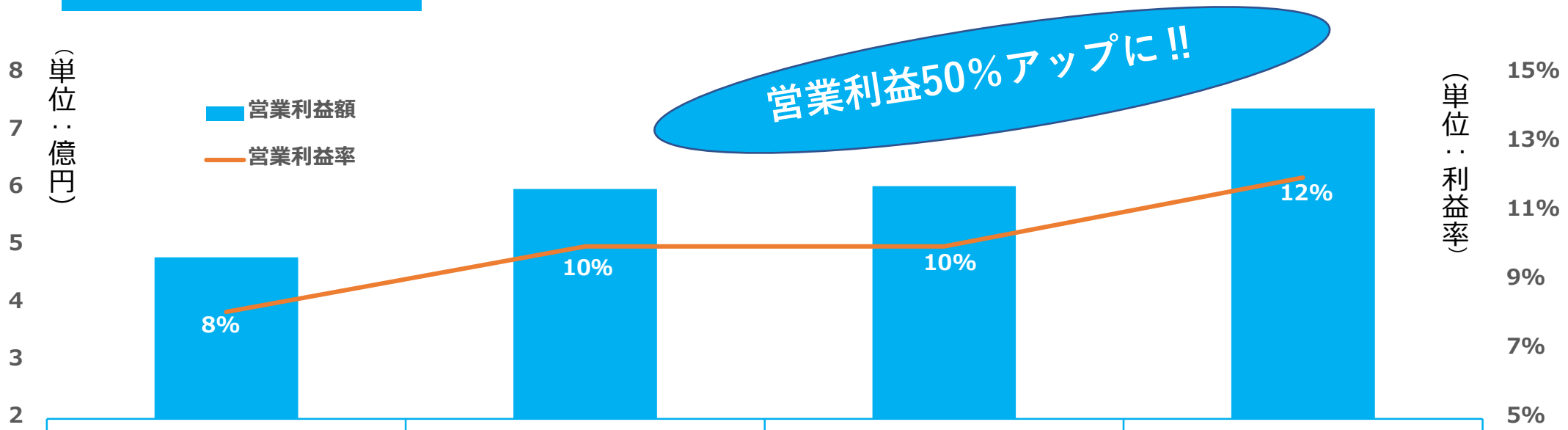
- 物流事業を主軸とし、保険事業との協働で業務を展開
- 物流：危険物、毒劇物、医薬品への特化による収益性・付加価値の向上
- 保険：日曹グループ会社及び従業員への積極的な支援
- 会社の発展と従業員の幸福感が連動できる企業

経営目標・戦略

- 営業利益５０％アップ
- 老朽化した倉庫の建替えの実施と資産の移動による事業所の再編（10年間で総投資額90億円）
- ＩＴを利用した受注業務の合理化の推進

Ⅱ．長期ビジョン［2020- ’29］

長期経営目標年次展開



［2019］	［2020～’22］	［2023～’25］	［2026～’29］
	第Ⅰステージ	第Ⅱステージ	第Ⅲステージ
	・千葉　危険物倉庫新設	・ＩＴ活用による受注業務合理化	・事業所再編・倉庫新設・集約
	・新社屋建設	・自動倉庫新設増床	・医薬品倉庫増床
		・医薬品製品保管受注促進	
		・子会社集約	

Ⅲ．新中期経営計画［2020- ’22］

●経営計画の施策

本計画期間［2020-‘22］を長期ビジョン実現に向けた飛躍のための第１ステージと位置付け、次の施策に取り組む

～ 2022　　～ 2029

	経営計画［2020-‘22］（第Ⅰステージ）	長期ビジョン（第Ⅱステージ～）
主要施策 営業戦略	• 新危険物倉庫　早期フル稼働の実現 • 危険物自動ラック倉庫　稼働率の向上 • 医薬品等、高付加価値貨物の取引拡大	» 危険物倉庫増床 » 得意先別収支の把握、分析 » 高収益顧客との取引拡大
主要施策 経営基盤	• 老朽化設備の更新工事等の計画推進 • 着荷基準変更に伴う会計基準の変更対応 • ＩＴを利用した受注業務の合理化	» 老朽化設備の更新工事と利益基盤の確立 » 絶え間ない品質向上、高効率化推進 » ＩＴを利用した業務の合理化、省人化の推進
主要施策 投資	• 千葉事業所　危険物倉庫建設 • 新社屋建設	» コア資産への資本集中とノンコア資産の処分

●経営目標

（単位：億円）

連結ベース	2020年度 計画	‘21年度 計画	‘22年度 計画
営業収益	**60**	**61**	**61**
営業利益	5	5	6